



FlexVolのノードを対象としたNDMPモードを 管理します。 ONTAP 9

NetApp
December 20, 2024

目次

FlexVolのノードを対象としたNDMPモードを管理します。	1
FlexVolのノードを対象としたNDMPモードの管理の概要	1
ノードを対象としたNDMPモードの管理用コマンド	1
ノードを対象としたNDMPモードでのユーザ認証	2

FlexVolのノードを対象としたNDMPモードを管理します。

FlexVolのノードを対象としたNDMPモードの管理の概要

NDMPオプションとコマンドを使用して、ノードレベルでNDMPを管理できます。NDMPオプションは、コマンドを使用して変更できません options。テープバックアップおよびリストア処理を実行するには、NDMP固有のクレデンシャルを使用してストレージシステムにアクセスする必要があります。

コマンドの詳細については options、マニュアルページを参照してください。

関連情報

[ノードを対象としたNDMPモードの管理用コマンド](#)

[ノードを対象としたNDMPモードとは](#)

ノードを対象としたNDMPモードの管理用コマンド

コマンドを使用すると、NDMPをノードレベルで管理でき `system services ndmp` ます。これらのコマンドの一部は非推奨となっており、今後のメジャーリリースで削除される予定です。

次の NDMP コマンドは、 advanced 権限レベルでのみ使用できます。

- `system services ndmp service terminate`
- `system services ndmp service start`
- `system services ndmp service stop`
- `system services ndmp log start`
- `system services ndmp log stop`

状況	使用するコマンド
NDMPサービスを有効にする	<code>system services ndmp on*</code>
NDMPサービスを無効にする	<code>system services ndmp off*</code>
NDMP設定を表示する	<code>system services ndmp show*</code>
NDMPの設定を変更する	<code>system services ndmp modify*</code>
デフォルトの NDMP バージョンを表示する	<code>system services ndmp version*</code>

状況	使用するコマンド
NDMPサービス設定を表示する	<code>system services ndmp service show</code>
NDMPサービス設定を変更する	<code>system services ndmp service modify</code>
すべての NDMP セッションを表示する	<code>system services ndmp status</code>
すべての NDMP セッションに関する詳細情報を表示する	<code>system services ndmp probe</code>
指定したNDMPセッションを終了する	<code>system services ndmp kill</code>
すべてのNDMPセッションを終了する	<code>system services ndmp kill-all</code>
NDMPパスワードの変更	<code>system services ndmp password*</code>
ノードを対象としたNDMPモードを有効にする	<code>system services ndmp node-scope-mode on*</code>
ノードを対象とした NDMP モードを無効にします	<code>system services ndmp node-scope-mode off*</code>
ノードを対象とした NDMP モードのステータスを表示する	<code>system services ndmp node-scope-mode status*</code>
すべての NDMP セッションを強制的に終了します	<code>system services ndmp service terminate</code>
NDMPサービスデーモンを開始する	<code>system services ndmp service start</code>
NDMP サービスデーモンを停止します	<code>system services ndmp service stop</code>
指定したNDMPセッションのロギングを開始する	<code>system services ndmp log start*</code>
指定したNDMPセッションのロギングを停止する	<code>system services ndmp log stop*</code>

• これらのコマンドは廃止され、今後のメジャーリリースで削除される予定です。

これらのコマンドの詳細については、コマンドのマニュアルページを参照して `system services ndmp` ください。

ノードを対象としたNDMPモードでのユーザ認証

ノードを対象としたNDMPモードでは、テープバックアップおよびリストア処理を実行するために、NDMP固有のクレデンシャルを使用してストレージシステムにアクセスす

る必要があります。

デフォルトのユーザ ID は「root」です。ノードでNDMPを使用する前に、NDMPユーザに関連付けられているデフォルトのNDMPパスワードを変更しておく必要があります。デフォルトのNDMPユーザIDを変更することもできます。

関連情報

[ノードを対象としたNDMPモードの管理用コマンド](#)

著作権に関する情報

Copyright © 2024 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および/または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。